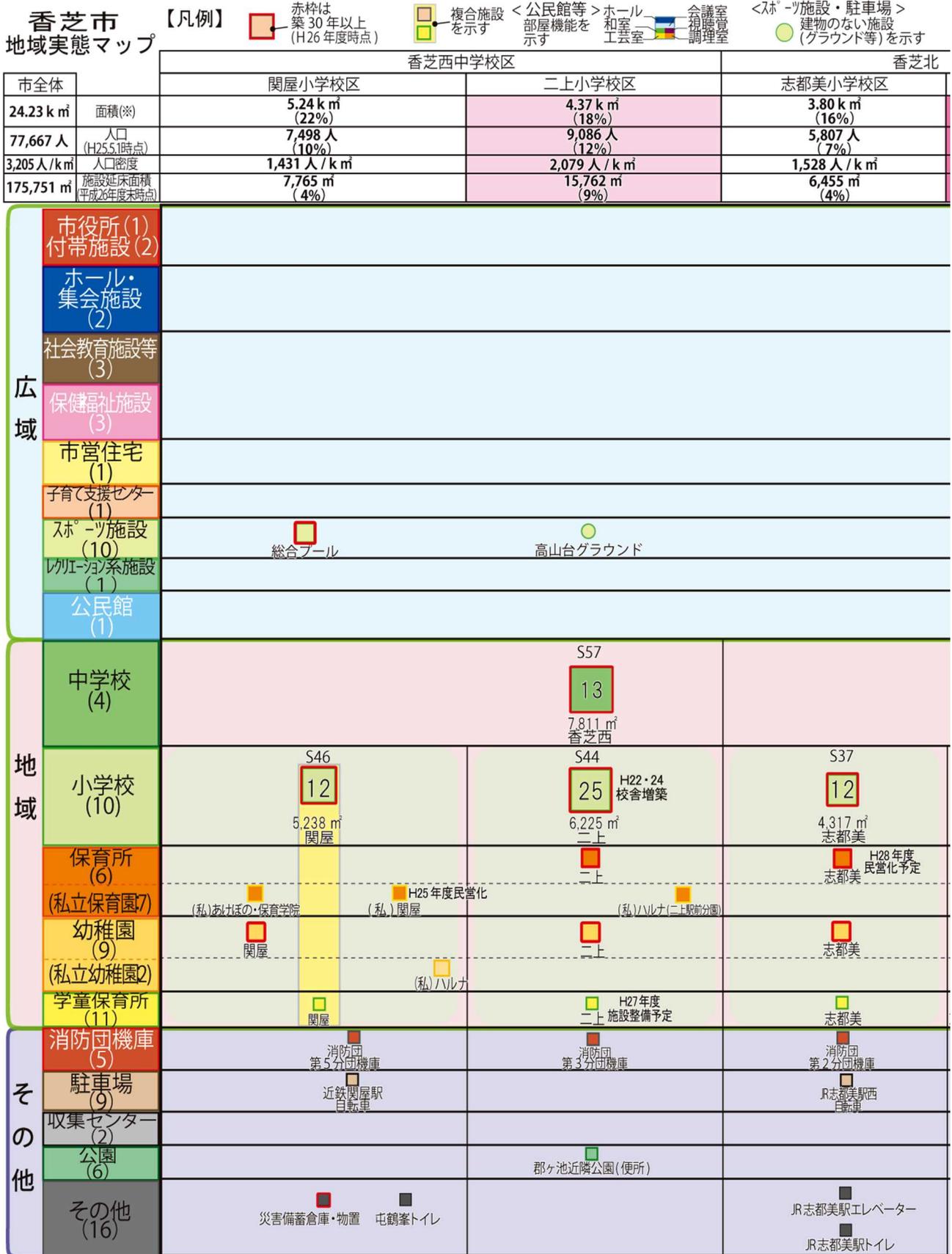


第3章 施設類型別実態把握及び評価・分析

第3章 施設類型別実態把握及び評価・分析

1. 地域実態マップ



<学校>
単式学級数 (H26.5.1) 21 □のサイズは
おおよその
延床面積を示す

人口密度 (人/km²) 1,000 2,000 3,000 4,000 5,000 6,000人～

中学校区	香芝中学校区				香芝東中学校区		
旭ヶ丘小学校区	下田小学校区	三和小学校区	鎌田	真美ヶ丘西	真美ヶ丘東	五位堂	
2.26 km ² (9%)	2.45 km ² (10%)	1.80 km ² (7%)	1.05 km ² (4%)	0.90 km ² (4%)	1.41 km ² (6%)	0.96 km ² (4%)	
10,109 人 (13%)	12,925 人 (17%)	7,434 人 (10%)	4,123 人 (5%)	5,092 人 (7%)	8,680 人 (11%)	6,913 人 (9%)	
4,473 人/km ²	5,276 人/km ²	4,130 人/km ²	3,927 人/km ²	5,658 人/km ²	6,156 人/km ²	7,201 人/km ²	
21,051 m ² (12%)	56,473 m ² (32%)	20,352 m ² (12%)	4,915 m ² (3%)	6,199 m ² (4%)	14,302 m ² (8%)	22,476 m ² (13%)	

市役所(1)
付帯施設(2)

ホール・集会施設(2)

社会教育施設等(3)

保健福祉施設(3)

市営住宅(1)

子育て支援センター(1)

スポーツ施設(10)

レクリエーション系施設(1)

公民館(1)

中学校(4)

小学校(10)

保育所(6)

(私立)保育園(7)

幼稚園(9)

(私立)幼稚園(2)

学童保育所(11)

消防団機庫(5)

駐車場(9)

収集センター(2)

公園(6)

その他(16)

2. 施設類型別実態把握及び改善の方向性

(1) 文化施設

施設一覧

小学校区	名称	所在地	延床面積 (㎡)	建築 年度 (年度)	構造 (主たる建 物)	保有機能					複合施設	
						メインホール (席数)	サブ ホール	楽屋	会議 室	和室		市民 ギャラリー
下田	1 香芝市ふたかみ文化センター	藤山一丁目17番17号	8,502.3	平成3	RC	(移動観覧席 310席)	(50席)					・二上山博物館(1F) ・香芝市民図書館(3F)
下田	2 香芝市モナミホール	下田西三丁目7番18号	2,981.0	昭和54	RC	(1,030席)						
合計			11,483.29									

昭和 59：建築年度の赤字は築 30 年以上を示す

現状と課題

< 建物状況 >

- ふたかみ文化センターは、築 23 年経過とこれから老朽化を迎える施設であるが、現地調査結果から、図書館内の天井に多数の漏水跡が見受けられ、また、近鉄線に面した屋上防音壁の錆劣化が著しく、落下の恐れがあるなど、早急な対応が必要な箇所が判明した。
- モナミホールは、築 35 年経過と老朽化がすでに進行しており、平成 28 年度に耐震補強工事を実施する予定である。屋上屋根部分が錆劣化による腐食が著しく、早急な対応が必要である。
- ふたかみ文化センターは 310 席（移動式）ホール、モナミホールは 1,030 席（固定席）ホールを有している。
- ふたかみ文化センターは、市民ギャラリー、図書館、博物館との複合施設、モナミホールは単独施設となっている。

< 利用状況 >

- ふたかみ文化センターは 1 日当たり平均 14 件の利用があるが、モナミホールは平均 0.8 件と 1 日 1 件の利用がない状況である。さらに、モナミホールの 1 件当たりの利用者数は平均 191 人と、1,000 人規模に対して非常に少ない利用となっている。
- ホールの稼働率は、ふたかみ文化センターが 45%、モナミホールが 27%にとどまっている。

< 運営・コスト状況 >

- 2 施設とも指定管理施設であり、2 施設合計年間トータルコスト 1 億 5,874 万円のうち、指定管理委託料が 9,200 万円と約 58%を占めている。
- 利用 1 件当たりにかかるコストでは、ふたかみ文化センターが 2 万 1,416 円、モナミホールは 19 万 428 円といずれも高額であるが、特にモナミホールが割高となっている。

改善の方向性

- ふたかみ文化センターは、平成 24 年度以降、利用状況は微増傾向にあるが、和室など稼働率が 40%未滿の諸室もある。今後は、更なる民間のノウハウを積極的に導入して、一層の効果的・効率的な運営を図る。
- モナミホールは、稼働率が 27%と低い状況であるが、平成 28 年度耐震補強工事を実施し、今後も施設を運営することとなる。そのため、利用率向上に向けた対策を行う必要がある。また、施設の更新期に、複合化・多機能化及び近隣自治体との連携を検討し、今後のあり方を見直す。

(2) 中央公民館

施設一覧

小学校区	名称	所在地	延床面積 (㎡)	建築 年度 (年度)	構造 (主たる建 物)	備考
下田	1 香芝市中央公民館	下田西三丁目7番 5号	2,634.60	昭和54	RC	平成29年度耐震改修予定

昭和 59 : 建築年度の赤字は築 30 年以上を示す

現状と課題

< 建物状況 >

- 中央公民館は、築 35 年経過と老朽化がすでに進行している。
- 現地調査結果からは、非常用発電機が故障(総合体育館、モナミホールと共用設備)のため、非常用照明等が作動できず、早急な改修が必要である。また、折半屋根の劣化が著しいことなど、早急な対応が必要な箇所がみられた。
- 平成 28 年度、耐震補強工事を実施する予定である。

< 利用状況 >

- 年間利用者数は 7 万 3,225 人、1 日当たり平均 239 人の利用があるが、そのうち 44%がサークル利用となっている。
- 施設全体稼働率は 32%。特に、和室や調理室などは 20%未滿と利用が少ない。

< 運営・コスト状況 >

- 中央公民館は、直営施設である。
- 年間トータルコストは 6,803 万円。そのうち、減価償却相当額が約 42%、人件費は約 39%を占めている。
- 利用者 1 人当たりコストは 929 円、利用 1 件当たりにかかるコストは 1 万 4,385 円となっている。

改善の方向性

- 中央公民館は、平成 28 年度に耐震改修予定となっているが、和室は調理室などは稼働率が 20% 未満と特に利用が少ない実態を踏まえ、機能移転や類似施設への機能集約など行うことを検討して、中央公民館のあり方を見直す。
- 運営面では、一部アウトソーシングなどの民間委託や民営化及び指定管理者制度等の効果的・効率的な運営方法の見直しを行う。

(3) 青少年センター

施設一覧

小学校区	名称	所在地	延床面積 (㎡)	建築 年度 (年度)	構造 (主たる建 物)	備考
下田	1 青少年センター	下田西二丁目1-12	936.5	昭和55	RC	

昭和 59 : 建築年度の赤字は築 30 年以上を示す

現状と課題

< 建物状況 >

- 青少年センターは、築 34 年経過と老朽化がすでに進行している。
- 現地調査結果から、外壁の鉄筋の爆裂が数箇所あり、全体的に黒ずみ汚れが目立つ。そのほか、高圧電力で契約のため、電気代の基本料金が割高となっている。

< 利用状況 >

- 青少年センターは青少年センター事務局とすみれ教室の複合施設である。
- 青少年センターは、広報啓発として「少年の主張」市民集会や青少年健全育成推進大会、子ども体験事業として、わくわくキッズ体験学習、ファミリー雪体験等の事業を行っている。
- すみれ教室(適応指導教室)は、教育委員会生徒指導支援室の事業として、市内小・中学校と緊密な連携を図りながら、学校に行けなくなったり、行きにくくなっている子供たちと、その保護者に対して、相談活動や学校生活への復帰を援助し支援する事業を行っている。

< 運営・コスト状況 >

- 青少年センターは、直営施設である。
- 年間トータルコストは 2,671 万円。そのうち、人件費が 1,633 万円で約 61% を占めている。

改善の方向性

- すみれ教室は事業の性格上単独施設が望ましいが、施設の範囲区分を明確にするなどの方法により他施設(青少年センター以外)との複合化を検討する。

(4) スポーツ施設

施設一覧

小学校区	名称	所在地	延床面積 (㎡)	建築 年度 (年度)	構造 (主たる 建物)	屋内施設			屋外施設			備考
						競 技 場 メ イ ン	競 技 場 サ ブ	ト レ ー ニ ン グ 室	プ ール	コ ー ト テ ニ ス	ポ ール 場 ゲ ート	
下田	1 香芝市総合体育館	本町1437番地	6,127.2	昭和52	RC							
旭ヶ丘	2 香芝市 北部地域体育館	上中273-1	839.8	昭和53	RC							
関屋	3 総合プール	穴虫2864番地の1	744.0	昭和59	RC							平成25年度 休止
旭ヶ丘	4 健民テニスコート	上中273番地1	-	-	-							
真美ヶ丘東	5 高塚テニスコート	真美ヶ丘六丁目 11番	-	-	-							
下田	6 市民いこいの広場	下田西二丁目397 番地2	-	-	-							
旭ヶ丘	7 健民運動場	上中273番地1	-	-	-							
二上	8 高山台グラウンド	高山台三丁目	-	-	-							
真美ヶ丘東	9 高塚グラウンド	真美ヶ丘六丁目 11番	-	-	-							
真美ヶ丘東	10 観正山グラウンド	真美ヶ丘三丁目4 番	-	-	-							
合計			7,711.03									

昭和 59：建築年度の赤字は築 30 年以上を示す

現状と課題

< 建物状況 >

- ◆ 建物を保有している 3 施設とも、築 30 年以上経過と老朽化がすでに進行している。
- ◆ 総合体育館は、耐震補強工事が未実施となっている。現地調査結果からは、非常用発電機の故障（中央公民館、モナミホールと共用設備）により、非常時に照明等が作動しないため早急な改修が必要である。その他、競技場の天井採光パネルの隙間から雨漏りがあるなど、早急な対応が必要な箇所が判明した。

< 利用状況 >

- ◆ スポーツ施設全体の年間利用者数は約 23.6 万人であり、そのうち総合体育館が約 12.5 万人（53%）となっている。
- ◆ 体育館の稼働率は、総合体育館メイン競技場 77%、サブ競技場 73%、北部地域体育館 66%といずれも高い。一方、グラウンドや運動場は、40%以下となっている。

< 運営・コスト状況 >

- ◆ 3 施設とも指定管理施設であり、3 施設合計の指定管理委託料が、6,727 万円と年間トータルコスト 1 億 2,234 万円の約 55%を占めている。
- ◆ 利用者 1 人当たりにかかるコストでは、総合体育館 698 円、北部地域体育館 497 円、総合プール 868 円で、プールが体育館に比べて割高となっている。

改善の方向性

- ◆ 総合体育館は、築 30 年以上経過しており、さらに耐震補強工事が未実施の状況である。稼働率は、メイン競技場 77%、サブ競技場 73%とともに高いため、計画的な修繕及び改修を実施し、屋内スポーツ施設の拠点施設と位置付け活用していく。
- ◆ 北部地域体育館も築 30 年以上経過し、老朽化が進行している。今後、大規模改修等が必要になった場合、学校体育館との共用化を検討する。
- ◆ 総合プールは、平成 26 年に改修を行なっているが、今後も老朽化が進行し大規模改修が必要となるため、現在計画されている「香芝市スポーツ公園」への機能移転、さらには学校プールとの共用化等を含めて、今後のあり方を見直す。

(5) 野外活動センター

施設一覧

小学校区	名称	所在地	延床面積 (㎡)	建築 年度 (年度)	構造 (主たる建 物)	備考
旭ヶ丘	1 野外活動センター	上中1045-1	144.0	平成9	S	

昭和 59 : 建築年度の赤字は築 30 年以上を示す

現状と課題

< 建物状況 >

- ◆ 野外活動センターは、築 17 年経過と比較的新しい小規模な施設で、テントサイト、かまど、洗い場、トイレ、ファイヤー場が設置されている。
- ◆ 無料施設である。

< 利用状況 >

- ◆ 市内の社会教育関係団体（ボーイスカウト、ガールスカウト、子ども会、PTA、スポーツ少年団）等、その他教育委員会が適当と認めた団体や市内在住で 18 歳未満の子供がいる家族も使用が可能。
- ◆ 年間利用件数は 115 件、利用者数は 4,013 人で、1 日当たりの利用件数は 0.4 件、1 日当たりの利用者数は 14 人である。団体利用が全体の約 81%、また平日利用が約 51%となっている。

< 運営・コスト状況 >

- ◆ 野外活動センターは、直営施設である。
- ◆ トータルコストは 199 万円。そのうち、使用料・賃借料が 147 万円で約 74%を占めている。
- ◆ 利用者 1 人当たりコストは 497 円、利用 1 件当たりにかかるコストは 1 万 7,330 円となっている。

改善の方向性

- ◆ 年間利用件数 115 件、日数ベースの稼働状況も約 41%にとどまっている。将来の児童数の推移を勘案し、その必要性を検討した上で、そのあり方を見直す。

(6) 保健センター

施設一覧

小学校区	名称	所在地	延床面積 (㎡)	建築 年度 (年度)	構造 (主たる建 物)	備考
下田	1 香芝市保健センター	逢坂一丁目506番地1	1,996.4	平成24	RC	心の健康相談室 78.8㎡

昭和 59 : 建築年度の赤字は築 30 年以上を示す

現状と課題

< 建物状況 >

- ◆ 保健センターは、平成 24 年度に建替えられた新しい施設である。

< 利用状況 >

- ◆ 乳幼児健診や生活習慣病健診等の各種健康診断、病気の早期発見のための各種検診等や、心の健康相談室や乳幼児相談等の健康相談、栄養指導相談、予防接種相談などを行っている。そのほか、妊産婦向け事業や子育て支援事業として、母親教室、妊産婦・新生児訪問指導、子育て交流会等も実施している。
- ◆ 年間利用者数は 3 万 8,586 人。健康増進室、会議室は貸し部屋としても利用できるが、利用者の約 6 割が保健センター事業の来所者となっている。
- ◆ 心の健康相談室の利用件数をみると、平成 25 年度の利用件数は 848 件、1 日当たり 3.5 件、平成 26 年度の利用件数は 1,136 件、1 日あたり 4.8 件となっている。

< 運営・コスト状況 >

- ◆ 保健センターは、直営施設である。
- ◆ 年間トータルコストは 2 億 1,773 万円。そのうち、保健センター事業費が約 2.1 億円 (95%)、心の健康相談室事業費が約 0.1 億円 (5%) となっている。
- ◆ 保健センター利用者 1 人当たりコストは 5,357 円、心の健康相談室利用 1 件当たりにかかるコストは 1 万 3,011 円となっている。

改善の方向性

- ◆ 平成 24 年度に建替えられた新しい施設であり、健康づくりの拠点施設として継続して利用していく。
- ◆ 計画的な維持管理を行い、施設の有効活用を図る。

(7) 総合福祉センター

施設一覧

小学校区	名称	所在地	延床面積 (㎡)	建築 年度 (年度)	構造 (主たる 建物)	機能							備考	
						多 目 的 室	視 聴 覚 室	工 芸 室	創 作 室	健 康 増 進 室	実 習 室	調 理 室		会 議 室
下田	1 香芝市 総合福祉センター	逢坂一丁目374番 地1	8,837.37	平成10	RC								(889㎡)	

昭和 59：建築年度の赤字は築 30 年以上を示す

現状と課題

< 建物状況 >

- ◆ 総合福祉センターは、築 16 年経過と比較的新しい施設であるが、劣化調査からは外壁の大きなひび割れや諸室内の雨漏りなどがみられた。外壁開口部廻りでの漏水も見られたため、早急な対応が必要である。
- ◆ 総合福祉センターでは、多目的室、視聴覚室、会議室等の貸室を行なうほか、ゲートボール場、かしば・屯鶴峯温泉が併設されている。

< 利用状況 >

- ◆ 総合福祉センターの年間利用者数は 4 万 6,068 人、稼働率は 44%。健康増進室は 62%と高いが、調理実習室・工芸室は 30%以下となっている。
- ◆ かしば・屯鶴峯温泉の年間利用者数は 12 万 727 人(409 人/日)。特に、市内の 65 歳以上の利用(使用料 200 円)が 66%と過半を占めている。

< 運営・コスト状況 >

- ◆ 総合福祉センターは、直営施設である。
- ◆ 年間トータルコストは 2 億円。そのうち、総合福祉センター分が約 1.8 億円(90%)、かしば・屯鶴峯温泉分が約 0.2 億円(10%)となっている

改善の方向性

- ◆ 周辺の類似機能を保有する公共施設(例えば、公民館等)との集約化・多機能化を図り、施設のさらなる有効活用を図る。
- ◆ 総合福祉センターでは、かしば・屯鶴峯温泉の利用が多い。今後、設備等の更新が必要となるため、施設の改修・更新時に機能の見直しを検討する。

(8) 保育所・幼稚園

施設一覧

(保育所)

小学校区	名称	所在地	延床面積 (㎡)	建築 年度 (年度)	構造 (主たる 建物)	入所園児数 (H.26.4.1現在)						認可 定員 (人) A B	入園 率 A/B	備考	
						0 歳	1 歳	2 歳	3 歳	4 歳	5 歳				
市立	五位堂 1 五位堂保育所	五位堂三丁目 464-1	773.1	昭和51	S	9	20	23	26	25	22	125	120	104%	
	下田 2 若葉保育所	下田西二丁目 6-27	1,050.7	昭和52	S	8	24	30	38	40	44	184	150	123%	
	三和 3 みつわ保育所	良福寺419	563.7	昭和42	S	7	20	28	28	25	27	135	120	113%	平成28,29年度建替 予定
	二上 4 二上保育所	畑四丁目545	903.8	昭和57	S	9	18	22	30	29	28	136	120	113%	
	志都美 5 志都美保育所	今泉382	570.9	昭和46	S	3	5	17	23	17	16	81	60	135%	平成28年度民営化 予定
	真美ヶ丘東 6 真美ヶ丘保育所	真美ヶ丘六丁 目9-1	925.3	昭和59	S	8	20	24	30	32	34	148	150	99%	
合計			4,787.51			44	107	144	175	168	171	809	720	112%	

私立	1 ハルナ保育園	鎌田 2 8 1 番地 1
	2 あげぼの・保育学院	関屋北五丁目 8 番 3 号
	3 せいか保育園	北今市五丁目 5 0 8 番地 1
	4 旭ヶ丘せいか保育園	旭ヶ丘一丁目 1 2 番地 2
	5 関屋保育園	関屋 3 9 6 番地

(幼稚園)

小学校区	名称	所在地	延床面積 (㎡)	建築 年度 (年度)	構造 (主たる建 物)	入所園児数 (H.26.5.1) A	認可 定員 B	入園 率 A/B	備考
市立	下田 1 下田幼稚園	下田西二丁目9番 23号	1,129.6	昭和45	S	120	210	57%	
	五位堂 2 五位堂幼稚園	五位堂二丁目345 番地の1	868.2	昭和46	S	68	140	49%	
	二上 3 二上幼稚園	畑四丁目608番地	597.2	昭和47	S	109	140	78%	
	志都美 4 志都美幼稚園	今泉78番地	729.1	昭和48	S	38	140	27%	平成27年度までに耐震 化実施予定
	関屋 5 関屋幼稚園	関屋北五丁目6番 4号	897.7	昭和50	S	44	140	31%	
	三和 6 三和幼稚園	良福寺 6 6 6 番地	975.4	昭和50	S	65	175	37%	
	真美ヶ丘東 7 真美ヶ丘東幼稚園	真美ヶ丘三丁目3 番24号	1,243.0	昭和62	S	126	280	45%	
	鎌田 8 鎌田幼稚園	鎌田364番地の1	818.2	昭和62	S	36	140	26%	
	旭ヶ丘 9 旭ヶ丘幼稚園	旭ヶ丘三丁目11 番地の1	1,448.4	平成16	RC	111	280	40%	
合計			8,706.79			717	1,645	44%	
私立	関屋 1 ハルナ幼稚園	上中1176 - 1							
	下田 2 せいか幼稚園	逢坂四丁目958							

昭和 59 : 建築年度の赤字は築 30 年以上を示す

現状と課題

< 建物状況 >

- 市立保育所 6 園（平成 28 年 4 月 1 日以降 5 園）すべて、市立幼稚園 9 園中 6 園が、築 30 年以上経過と老朽化がすでに進行している。
- 耐震補強工事はおおむね完了しており、「みつわ保育所」は平成 28、29 年度建替え予定。「志都美幼稚園」は平成 27 年度耐震補強工事を行っている。

< 利用状況 >

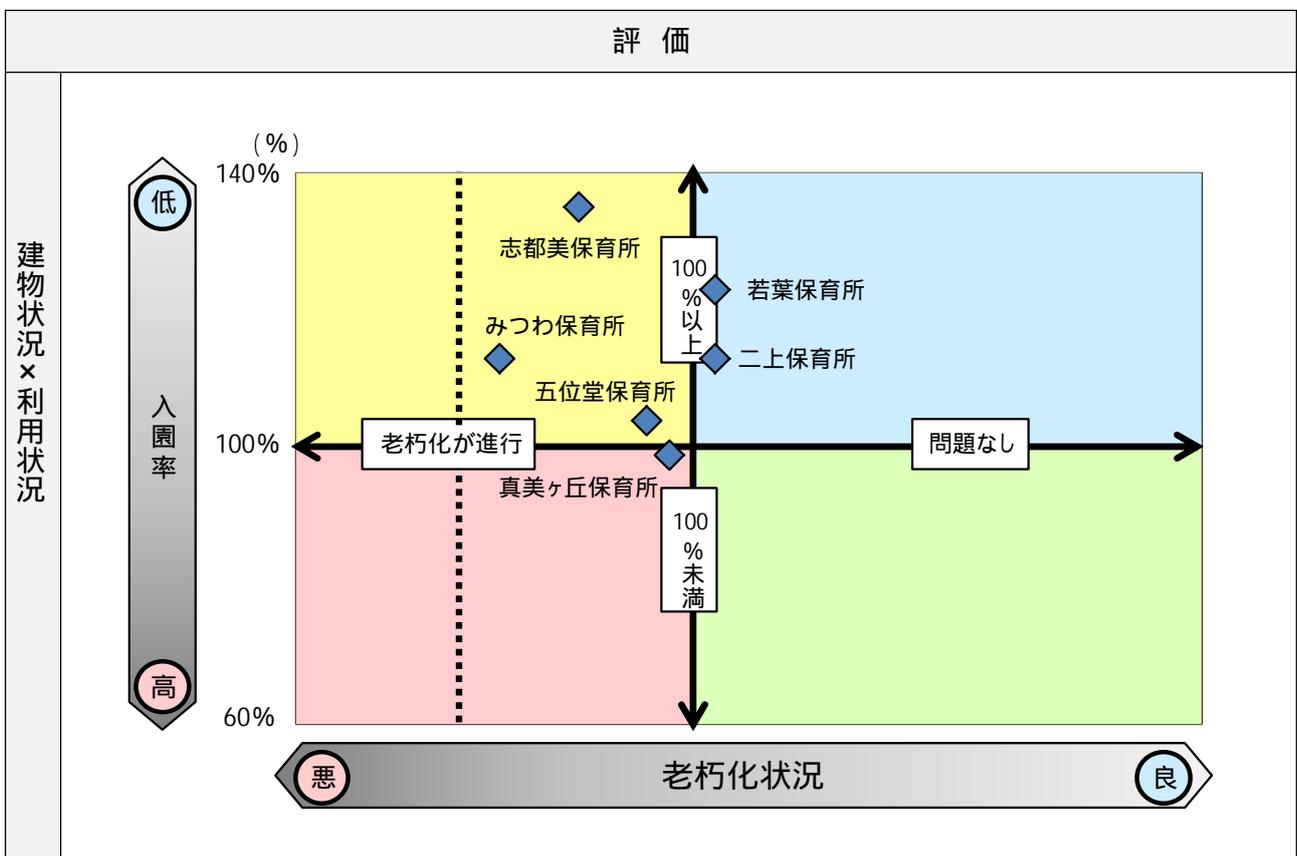
- 市立保育所 6 園中 5 園（平成 28 年 4 月 1 日以降 5 園中 4 園）が定員を上回っており、定員の弾力的運用によって運営している。市立幼稚園は 9 園すべてで定員を下回っており、7 園で入園率が 50% 未満となっている。

< 運営・コスト状況 >

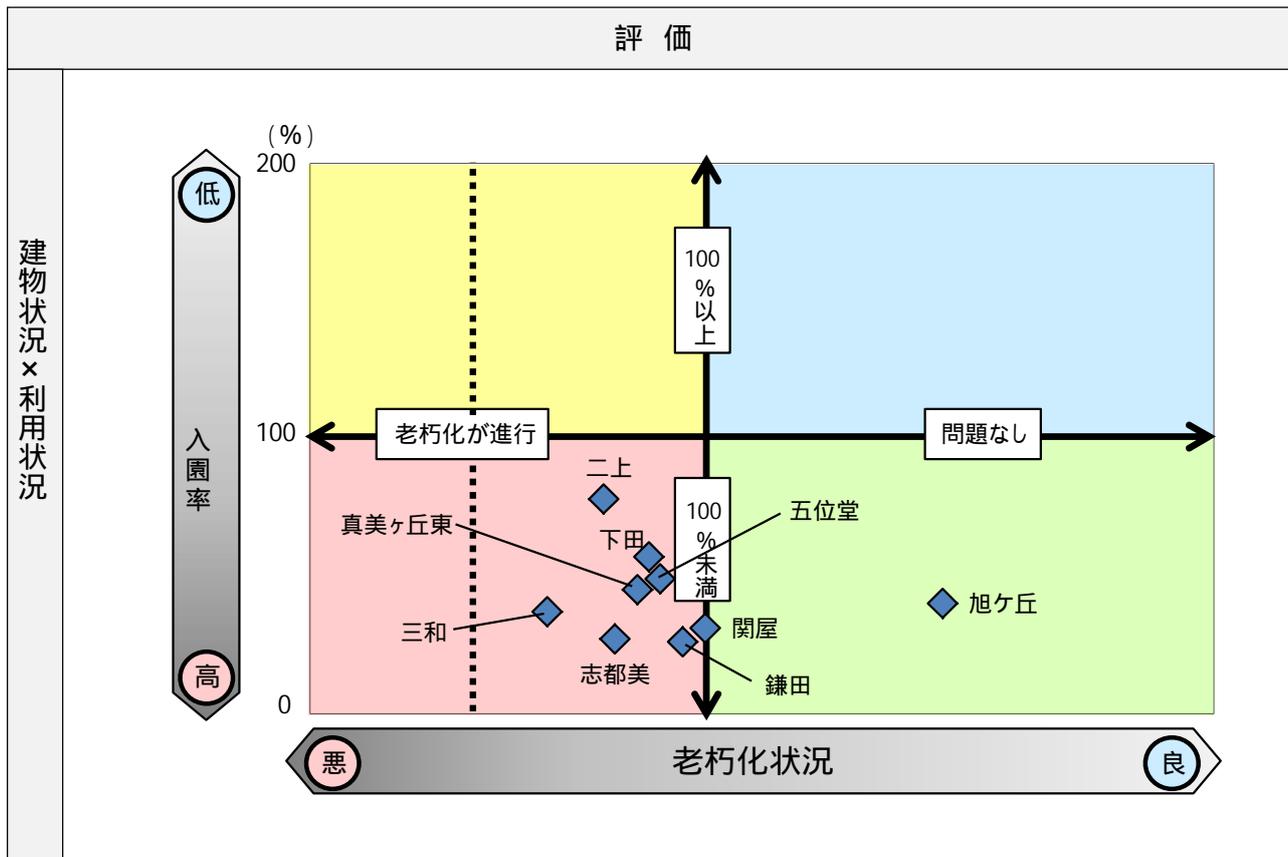
- 市立保育所 6 園の合計年間トータルコスト 7 億 3,740 万円で、1 園当たり 1.2 億円。
- 市立幼稚園 9 園の合計年間トータルコスト 3 億 9,775 万円で、1 園当たり 0.4 億円。
- 園児 1 人当たりにかかるコストは、保育所は平均 90.8 万円/人、幼稚園は平均 51.2 万円/人となっている。

建物状況と利用状況による評価結果

< 保育所 >



< 幼稚園 >



改善の方向性

- ◆ 老朽化が進行した保育所・幼稚園の更新は、統合・整理及び民営化の検討とあわせて総合的に取り組む。
- ◆ 幼保一元化の取組としてこども園化や、近接する学校との連携強化により、地域の子育て支援に一体的に取り組む。

(9) 学童保育所

施設一覧

小学校区	名称	所在地	延床面積 (㎡)	建築 年度 (年度)	構造 (主たる 建物)	複合・併設施設		H26年度			備考	
						小学校	その他	児童数 A	定員 B	入所率 A/B		
市立	下田	1 下田学童保育所	北今市五丁目 553-3	273.0	平成16	S			87	90	97%	
	関屋	2 関屋学童保育所	関屋北五丁目 7番1号	67.8	平成23	RC	関屋小内		49	45	109%	
	五位堂	3 五位堂学童保育所	五位堂二丁目 300番地の1	87.0	昭和57	RC	五位堂小内		70	45	156%	平成27年度施設整備計画あり
	二上	4 二上学童保育所	畑四丁目568- 1	94.3	平成14	S			74	55	135%	平成27年度施設整備計画あり
	鎌田	5 鎌田学童保育所	鎌田370	58.0	昭和63	S			35	45	78%	
	真美ヶ丘東	6 真美ヶ丘東学童保育所	真美ヶ丘三丁目 2-13	197.6	平成2	S			74	90	82%	
	真美ヶ丘西	7 真美ヶ丘西学童保育所	真美ヶ丘五丁目 4-16	98.9	昭和63	S			54	45	120%	平成27年度施設整備計画あり
	旭ヶ丘	8 旭ヶ丘第1学童保育所	旭ヶ丘三丁目 11番地の1	139.6	平成15	S			141	70	101%	
	旭ヶ丘	9 旭ヶ丘第2学童保育所	旭ヶ丘四丁目 12番地20	207.1	平成19	S				70		
	三和	10 三和学童保育所	良福寺665-2	58.0	昭和60	S			65	45	144%	
	志都美	11 志都美学童保育所	今泉363番地	368.9	平成26	S			50	45	111%	
合計			1,650.05					699	645	108%		
私立	関屋	1 太陽の丘児童館	関屋北5-8-3						78			あけぼの・保育学院内
	下田	2 Seika after school	北今市五丁目 518番地1						44			せいか保育園内
	鎌田	3 ハルナ保育園(学童)	鎌田281番地1						13			ハルナ保育園内
合計								135				

昭和 59 : 建築年度の赤字は築 30 年以上を示す

現状と課題

< 建物状況 >

- ◆ 五位堂学童保育所は築 30 年以上経過しており、そのほか 4 施設が築 20 年以上経過している。
- ◆ 厚生労働省「放課後児童クラブガイドライン」により望ましいとされる 1.65 ㎡/人 を下回る施設が 11 施設中 4 施設ある。

< 利用状況 >

- ◆ 市立学童保育所の登録児童数は、全施設合計で 699 人となっており、入所率は 108% と定員を超えている。
- ◆ 国の基準や待機児童への対応のため、平成 27 年度に五位堂学童保育所、二上学童保育所、真美ヶ丘西学童保育所の施設を整備している。

< 運営・コスト状況 >

- ◆ 学童保育所は直営施設であり、合計トータルコストは 5,652 万円、1 施設当たり 209 万円から 903 万円となっている。
- ◆ 児童 1 人当たりにかかるコストは、平均 11.2 万円。

改善の方向性

- ◆ 子ども子育て支援新制度により、学童保育所の入所対象児童が小学校 3 年生から 6 年生まで拡大したことに加え、今後も学童保育のニーズが増加する見込みである。このため、既存施設の建替えや増築工事により定員枠の拡大を図る。
- ◆ 運営面については、民間活用による時間延長や新たなサービスの導入を図ることにより、機能充実を図る。

(1 0) 学校

施設一覧

名称		住所	敷地面積 (㎡)	延床面積 (㎡)	建築 年度	児童生徒 数(人)	単式学級 数(学級)	
小学校	1	五位堂小学校	五位堂二丁目300番地の1	11,203	5,461	昭和43	481	17
	2	下田小学校	下田西二丁目9番41号	19,006	6,247	昭和42	763	24
	3	二上小学校	畑四丁目573番地	12,076	6,225	昭和44	826	25
	4	関屋小学校	関屋北五丁目7番1号	23,129	5,238	昭和46	389	12
	5	志都美小学校	今泉104番地の1	8,765	4,317	昭和37	347	12
	6	三和小学校	良福寺665番地の2	14,011	5,036	昭和51	387	12
	7	鎌田小学校	鎌田370番地	18,064	4,020	昭和57	199	8
	8	真美ヶ丘東小学校	真美ヶ丘三丁目2番70号	29,052	6,819	昭和62	587	18
	9	真美ヶ丘西小学校	真美ヶ丘五丁目4番20号	21,062	5,032	昭和62	332	12
	10	旭ヶ丘小学校	旭ヶ丘三丁目1番地の3	21,069	8,878	平成6	1,187	35
小学校計			177,437	57,274		5,498	175	
中学校	1	香芝中学校	磯壁一丁目1058番地の2	5,851	13,646	昭和49	635	17
	2	香芝西中学校	穴虫3096番地の2	4,334	7,811	昭和57	457	13
	3	香芝東中学校	真美ヶ丘二丁目12番27号	8,631	14,944	昭和58	736	19
	4	香芝北中学校	旭ヶ丘四丁目14番地	4,486	8,887	平成11	842	21
中学校計			23,303	45,288		2,670	70	
学校施設合計			200,740	102,563		8,168	245	

昭和 59 : 建築年度の赤字は築 30 年以上を示す

現状と課題

< 建物状況 >

- ◆ 小学校 10 校、中学校 4 校、合計 14 校が設置されている。14 校中 10 校が築 30 年以上、そのうち 6 校が築 40 年以上経過している。
- ◆ 複数棟で雨漏りや室内への漏水があり、躯体等への劣化の影響が危惧されるため、早急な対応が必要である。

< 利用状況 >

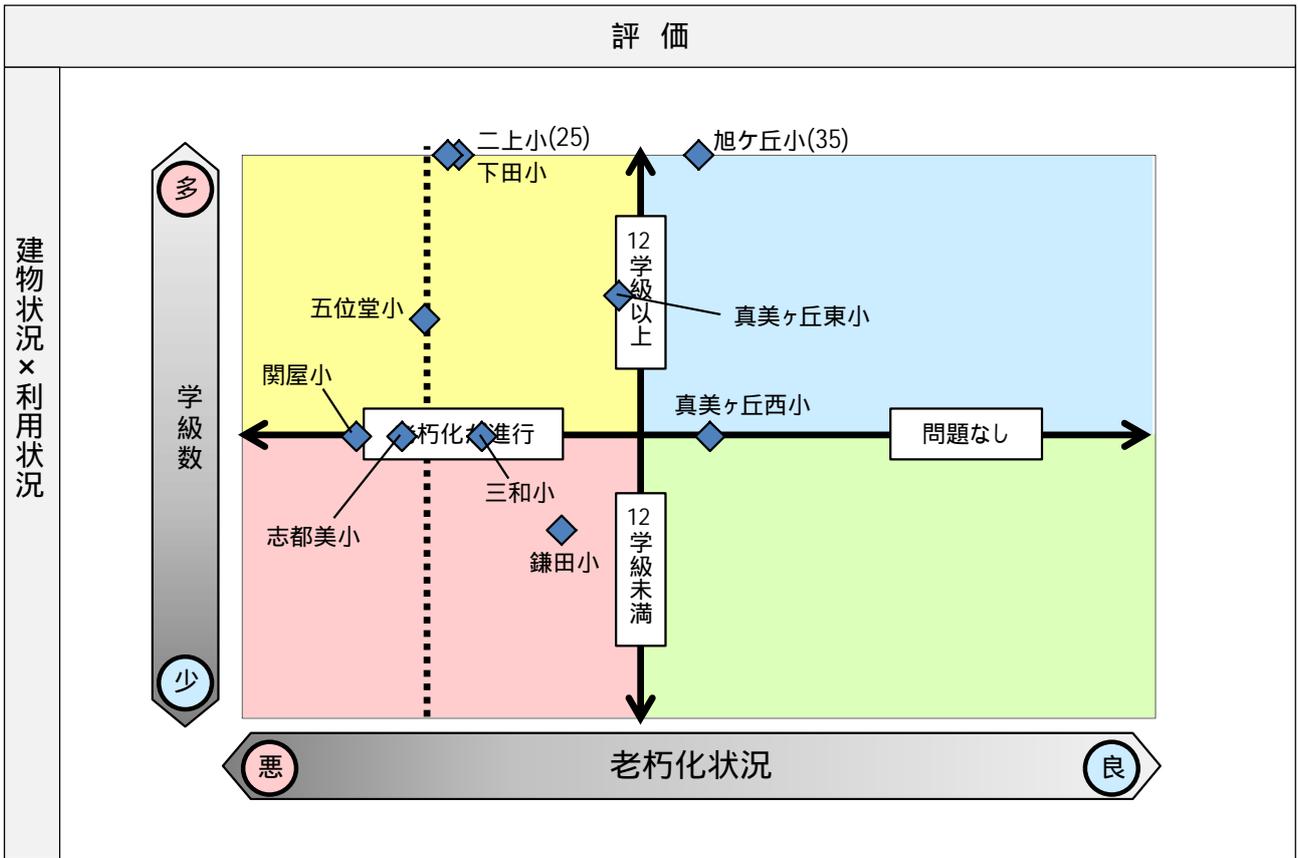
- ◆ 児童生徒数は平成 25 年度をピークに減少傾向となっており、平成 41 年までに約 15% の減少予測となっている。学級数は、35 学級の旭ヶ丘小学校から 8 学級の鎌田小学校など学級数に大きな差がある。
- ◆ 保有普通教室数のうち、普通教室として使用されているのは約 78% であり、香芝中では全体の約 2 割が余裕教室となっている。

< 運営・コスト状況 >

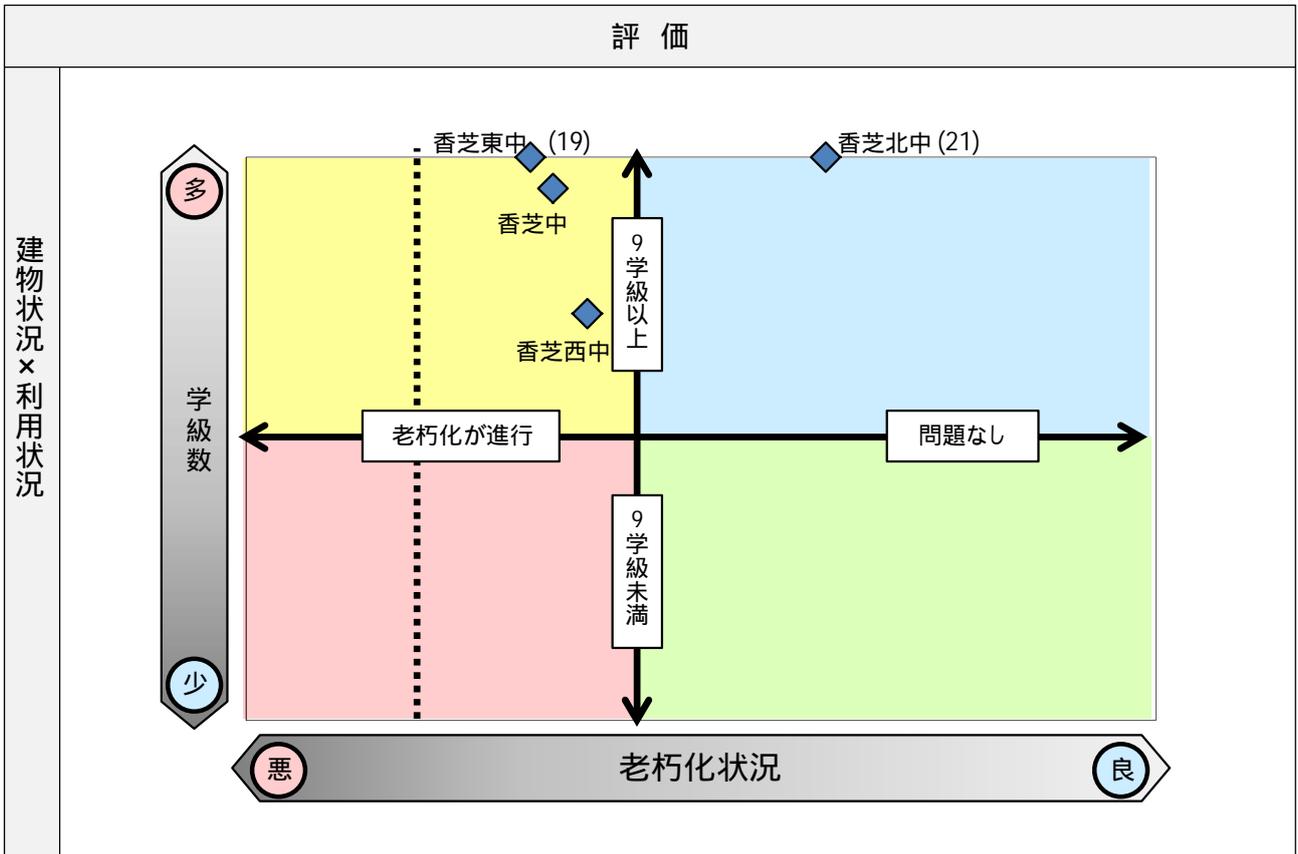
- ◆ 施設関連経費の状況をみると、これまで児童生徒数の増加に対応するため、増築や耐震補強工事が中心となっていた。今後は約 3 倍の費用が必要となる可能性がある。

建物状況と利用状況による評価結果

< 小学校 >



< 中学校 >



改善の方向性

- ◆ 学校施設の老朽化に対しては、良好な教育環境の整備に向けて、計画的に長寿命化を図っていく。
- ◆ 地域住民にとって一番身近な施設となるように、近接する保育所や幼稚園との連携を強化し、地域の実情に応じた多機能化・複合化を図ることにより、地域の拠点施設として有効的に活用していく。

(1 1) 駐車場

施設一覧

小学校区	名称	所在地	延床面積 (m ²)	建築年度 (年度)	構造 (主たる建物)	備考
真美ヶ丘東	1 近鉄五位堂駅北自動車駐車場	瓦口2159、2160	-	-	-	
真美ヶ丘東	2 近鉄五位堂駅北自転車駐車場	瓦口2169	-	-	-	
真美ヶ丘東	3 近鉄五位堂駅北自転車駐車場(第1)	瓦口2140	2,375.3	平成3	S	
真美ヶ丘東	4 近鉄五位堂駅北自転車駐車場(第2)	瓦口2127	392.0	平成5	S	
下田	5 JR香芝駅自転車駐車場(第1)	下田西一丁目1番3号	1,454.0	平成16	S	
下田	6 JR香芝駅自転車駐車場(第2)	下田西一丁目293番地4	116.4	平成16	S	
下田	7 近鉄下田駅地下自転車駐車場	下田西四丁目186番地1	1,966.2	平成9	RC	
関屋	8 近鉄関屋駅自転車駐車場	関屋1581番地1	628.7	平成12	S	
志都美	9 JR志都美駅西自転車駐車場	上中160-3、161-2	305.52	平成22	S	
合計			7,238.13			

昭和 59：建築年度の赤字は築 30 年以上を示す

現状と課題

< 建物状況 >

- ◆ 自動車駐車場が 2 施設、自転車の駐車場が 7 施設、計 9 施設の駐車場を保有している。

< 利用状況 >

- ◆ 自動車駐車場は、1 日当たりの平均入庫台数が 1 5 4 台である。
- ◆ 自転車駐車場は、稼働率が近鉄五位堂駅北で 8 0 % 以上であるのに対し、それ以外ではほとんどが 3 0 % 以下である。

< 運営・コスト状況 >

- ◆ 平成 2 4 年度においては、近鉄五位堂駅北自動車駐車場と JR 志都美駅西自転車駐車場は市の直営、その他は指定管理者により運営されている。
- ◆ トータルコストは 7,884 万円。そのうち、指定管理委託料が約 59% を占めている。収益は 7,991 万円で、平成 2 4 年度は支出を上回る収益となっている。

改善の方向性

- ◆ 自動車駐車場については、支出を上回る収益となっている。自転車駐車場については、稼働率が 30% 以下の施設がほとんどであることから、今後の施設のあり方について抜本的な見直しを図る。

(1 2) 旧公民館 (シルバー人材センター)

施設一覧

小学校区	名称	所在地	延床面積 (㎡)	建築 年度 (年度)	構造 (主たる建 物)	備考
下田	1 旧公民館(シルバー人材センター)	下田西二丁目1番22号	431.3	昭和37	RC	

昭和 59 : 建築年度の赤字は築 30 年以上を示す

現状と課題

< 建物状況 >

- ◆ 旧公民館を活用しており、築 52 年が経過した建物で、市内で最も老朽化した施設の 1 つである。

< 利用状況 >

- ◆ シルバー人材センターは、「高齢者の雇用安定等に関する法律」に基づき、国・県・所轄自治体から助成・支援を受けて運営する公益的・公共的な非営利団体で、60 歳以上の方が会員として登録し、自主的な活動を行っている。
- ◆ シルバー人材センターは会員に仕事を提供し、仕事量に応じて配分金を支払っている。
- ◆ 主な活動内容として、一般家庭からは植木の手入れ、草引、草刈のほか、襖・障子・網戸の張替等の仕事が多い。企業からは、清掃や駐車場管理等を引き受けている。

< 運営・コスト状況 >

- ◆ シルバー人材センターは公益社団法人により運営されている。
- ◆ トータルコストは 196 万円で、建物の使用料・賃借料となっている。

改善の方向性

- ◆ 建物が老朽化しているため、事業は今後も維持しながら、施設としては他の公共施設を活用するなど、単独施設としてのあり方を見直す。

3. 実態・課題のまとめ

(1) 文化施設

- ふたかみ文化センターは、平成24年度以降、利用状況は微増傾向にあるが、和室など稼働率40%未満の諸室もある。更なる民間のノウハウを積極的に導入して、一層の効果的・効率的な施設運営を図る。
- モナミホールは、稼働率が27%と低い状況であるが、平成28年度耐震補強工事を実施し、今後も施設運営を行うため、利用率向上に向けた対策を行う必要がある。また、施設更新にあわせて複合化・多機能化及び近隣自治体との連携を検討し、今後のあり方を見直す。

(2) 中央公民館

- 中央公民館は、平成28年度に耐震改修予定となっているが、施設全体稼働率が32%と利用が少ない。和室や調理室などは20%未満と特に利用が少ない実態を踏まえ、機能移転や類似施設への機能集約を検討して中央公民館のあり方を見直す。

(3) 青少年センター

- 青少年センターは青少年センター事務局とすみれ教室の複合施設である。施設は築34年経過し老朽化が進行している。
- すみれ教室は事業の性格上単独施設が望ましいが、施設の範囲区分を明確にするなどの方法により他施設（青少年センター以外）との複合化を検討する。

(4) スポーツ施設

- 総合体育館は、築30年以上経過しており、さらに耐震改修工事が未実施の状況である。稼働率は、メイン競技場77%、サブ競技場73%とともに高いため、計画的な修繕及び改修を実施し、屋内スポーツ施設の拠点施設と位置付け活用していく。
- 北部地域体育館も築30年以上経過し老朽化が進行している。大規模改修等に際しては、学校体育館との共用化を検討する。
- 総合プールは平成26年に改修を行っているが、今後も老朽化により大規模改修が必要となるため、現在計画されている「香芝市スポーツ公園」への機能移転を含めて今後のあり方を見直す。

(5) 野外活動センター

- 年間利用件数115件と、日数ベースの稼働状況も約41%にとどまっている。将来の児童数の推移を勘案し、必要性を検討した上でそのあり方を見直す。

(6) 保健センター

- 平成24年度に建替えられた新しい施設である。健康づくりの拠点として継続的に活用していく。

(7) 総合福祉センター

- 築16年経過と比較的新しい施設で、多目的室、視聴覚室、会議室等の貸室機能の他、ゲートボール場、かしば・屯鶴峯温泉が併設されている。健康増進室は62%と高いが、調理実習室・工芸室は30%以下となっており、周辺の類似機能を保有する公共施設（例えば、公民館等）との集約化・多機能化を図り、施設のさらなる有効活用を図る。

(8) 保育所・幼稚園

- 市立保育所6園（平成28年4月1日より5園）すべて、市立幼稚園9園中6園が、築30年以上経過し老朽化が進行している。施設の更新は、統合・整理及び民営化の検討とあわせて総合的に取り組む。
- 市立保育所6園中5園（平成28年4月1日より5園中4園）が定員を上回っており、定員の弾力的運用によって運営している。市立幼稚園は9園すべてで定員を下回っており、7園で入園率が50%未満となっている。幼保一元化の取組としてこども園化や、近接する学校との連携強化により、地域の子育て支援に一体的に取り組む。

(9) 学童保育所

- 厚生労働省「放課後児童クラブガイドライン」で望ましいとされる1.65㎡/人を下回る施設が11施設中4施設ある。国の基準や待機児童への対応のため、平成27年度には五位堂学童保育所、二上学童保育所、真美ヶ丘西学童保育所の施設整備を行なっている。
- 子ども子育て支援新制度により、学童保育所の入所対象児童が小学校3年生から6年生まで拡大したことに加え、今後も学童保育のニーズが増加する見込みである。このため、既存施設の建替えや増築工事により定員枠の拡大を図る必要がある。運営面については、民間活用による時間延長や新たなサービスの導入を図ることにより、機能充実を図る。

(10) 学校

- 学校は築30年以上が71%と、他の公共施設に比べて老朽化が進行しており、これまでは耐震補強を中心に取り組んできた。
- 普通教室以外のその他教室や余裕教室として使用している教室が半数近くある中学校もあれば、直近まで増築を行っている学校もあるなど、学校によって状況が異なっている。
- 老朽化に対しては、良好な教育環境の整備に向けて、計画的に長寿命化を図る必要がある。また、地域住民にとって一番身近な施設となるように、近接する保育所や幼稚園との連携を強化し、地域の実情に応じた多機能化・複合化を図ることにより、地域の拠点施設として有効に活用していく。

(11) 駐車場

- 自転車駐車場については、稼働率が30%以下の施設がほとんどであるから、今後の施設のあり方について抜本的な見直しを図る。

(1 2) 旧公民館 (シルバー人材センター)

- シルバー人材センターとして活用しており、築52年が経過した建物で、市内で最も老朽化した施設の1つ。事業は今後も維持しながら、施設としては他の公共施設を活用するなど、単独施設としてのあり方を見直す。